

常総市の横田です。沢山のご支援本当にありがとうございます。

災害発生から23日がすぎましたが、めまぐるしい日々が続いています。

県災害対策本部によると全壊50棟、大規模半壊1035棟(常総市88%)

半壊にあたる床上浸水2801棟(常総市99%)、

一部損壊7132棟(常総市6001棟)とのこと。ただしこれは戸建てのみ。

やっと罹災証明の発行がはじまりました。先週から戸建てを対象にした

応急修理と、家に住めない人への公営住宅の無償提供受付が始まりました。

昨日は私の住む森下町でおそらく2回目の炊き出し(三重県のいいのさんが

きてくれました)があり、一軒一軒声をかけてまわりましたが、ほとんどがたたみや

床をはがした状態で2階生活。おそらく風呂も台所での料理も困難な状態。車を失い

火災保険も水害のため出ない、数100万の住宅修復に57万円程度の応急修理費

ではとてもたりません。外国人の方が買って数カ月の家が床上浸水で400万の

修理代がはらえないと連日駆け込んできます。生活再建支援法で全壊、大規模半壊には100万

円、50万円の基礎支援金がでるようですが、半壊でも数100万の工事費は

必要です。家の修復がしやすくなるようなんとかしたいです。そうでないとみな家を捨ててまちを出て行ってしまいかねません。

先週から市の会議のに同席できるようになり、こうした在宅避難者のことを考えてほしいと話して

います。避難所統合で20近くあったところが市内は5か所くらいになり

人数は減りました。それは町はずれの避難所では、通勤通学が困難なためでもあります。

家に帰れたとしても上記のように食事もろくにつくれない生活をしている人が大量にいます。実質的な避難生活者はあまり減っていないと思います。

今回は市役所が水没、電源喪失し機能不全になったので対応の遅れを招きましたが

現状の把握、災害救助法でできることの検討がとても不十分です。3週間たっても市内の避難所

はおにぎり。市外の避難所ではお弁当がでていのに。在宅避難者は今月4日からそのようなもの

すら提供してくれなくなるそうです。避難所も食事だけでなく劣悪な状況がつづいています。避難

所をまわるNPOの方の働きかけで少しずつ改善されてはいますが、体の弱った人が統合の際

に体育館に入れられたり、風邪を引いた人は

迷惑をかけたくないと、床下の泥かきがおわらずカビが大量発生している被災住宅に戻っているような状況です。避難所で夜間見守る保健師や看護師もありません。

なんとか、本来なら使える制度を行政にもっと使ってもらい避難所や被災住宅で苦しい生活をおくっている人を救済してもらえるよう働き掛けようとしています。今日はそのための会合をもちます。地元の地域リーダー、jc、行政関係者にも声をかけ災害対策に詳しい方々に知恵をいただく会です。

コモンズは、もともとこの地域に多い外国児童生徒向けの学習支援をしていたビルが水没したのですが、今は1階が高圧洗浄機や荷車などの貸出し機材倉庫、2階がボランティアの受付と

情報提供拠点、3階が支援物資倉庫と簡易宿泊という状況で毎日全国からきていただいた応援スタッフが運営しています。平日がスタッフが少ないのが課題です。最近軽トラックの貸し出しが増えました。ボランティアは、1階の濡れた家財道具を外にだす作業から床下の泥を取り出す作業、農地での作業、堤防決壊エリアで家が全壊した地域での重機もつかった砂の撤去作業に重点が移っていますが、全然足りていません。とりあえず通りや公園にあったゴミの山はなくなってきましたが、家の片づけをしている人はみな疲れています。住宅地での炊き出し、足湯、マッサージなどを増やしたいところです。こうした街中で避難しつつ片づけをしている人が地域で支えあえる状況をつくる活動にも力を入れようとしています。そのひとつが街中の集会場所などでのサロン（炊き出し、相談、マッサージ、足湯等を行う）とカーシェアリングです。

昨日、石巻のカーシェアリング協会の方が来てくださり、やり方を教わり私自身が車を預かりました。社用車が2台なくなり、困っていたので本当にありがたいことです。

これからまちごとにカーシェアの拠点を増やしたいのですが、避難所には車を管理できる体制がつかれそうにないので、通学通院を中心に無料に近い形での送迎サービスを立ち上げることにしました。これも宮城や大阪の移動支援の方の協力によって可能になった事業です。

多言語の情報誌発行と多言語のラジオ放送も続けます。やることがどんどん増えます。毎晩、市内に入ってくださった20を超える全国の市民団体の方と、情報交換を行っています。NPOのネットワーク力はすごいと改めて思います。様々な情報、知恵、支援が集まってきます。被災した市民が直面している状況は本当に深刻ですが、なんとか外部からきていただいた方の応援をてこにして、住民が必要とする助け合いサービスをつくったり、行政に提言していけるよう、コモンズは現地でのつなぎ役をしていきたいと思います。引き続きご支援をお願いします。

以下、今の時点でご協力いただけるとありがたいものを記します。

情報 これまでの災害(特に水害)の際の行政の柔軟な支援を引き出した事例

半壊でも生活再建支援金が出た事例

(支援金も現金でないと家具を買うお金がないです)

在宅避難者が、被災者として物資、食事などの支援など

行政から得られた事例

具合がわるくなった人が避難所や在宅からホテルなどに移れた事例

おにぎりしかでない避難所の食事を途中から改善した事例

数千万の機材を損失し事業再開が困難な事業者の事業を支援した事例

新築数カ月で床上浸水したが火災保険もせず修復費用も銀行から借り

られない人の改装費用を安くするか公的支援を増やす事例

個人所有の田畑や土地にある大きなゴミを公的費用で撤去した事例

個人宅のこわれた塀を公的支援で運んでもらった事例

公園や自治会資産である集会所の修復費用をねん出した事例

ペットがいる方が無償提供の公営住宅に入れるようにした事例

市民運営の移動サービスにガソリン代等が行政から支払われた事例

フローリングの床をはがさずに床したの泥水をとり、カビ防止、白アリ対策に必要な処理をする方法をまとめた資料

修復工事にかかる費用の妥当性がわからないときにどうすればいいか、に関する情報源や床上浸水住宅の修復の具体事例集

物資 毛布、シャンプーや石鹸など風呂用品、調味料、台所洗剤、カセットコンロ、なべ、キャンプのテントでつかうようなライト、様々なサイズの運動ぐつ、エコバック、

食品 缶詰、お菓子、カップめん、ひもちがしてカセットコンロでちょうりできる食材、ビタミンや栄養補給ができるジェル状の食べ物、野菜ジュース、炊き出し用の食材  
(コンビニやスーパーは再開しはじめましたが水海道の飲食店は多くが休業中ですし買い物に行く時間も足もお金も不十分なので、みなビタミン不足です。温かいもの、甘いものが食べたいです。昨日も昼間暑い日でしたがお汁粉やトン汁が喜ばれました。3週間たっても連日おにぎり、こんな生活状況なのです)

(物資や食材についてご協力いただける場合は数や保管場所の調整が必要になりますのでご一報ください。)

人 家の修復、カビ防止やシロアリ対策について相談でしたり作業方法を教えてくれる人、床したにもぐる作業ができる人、火災保険や自動車保険など損害保険に詳しい方、家の修復費用の見立てができる人、まちなかサロンなど運営を手伝ってくれる方、個人宅の掃除や片づけを手伝ってくれるボランティア、移動サービスの運転ボランティアや運営スタッフ、翻訳や通訳のスタッフ(ポルトガル語、英語、スペイン語、タガログ語、ウルドゥ語、中国語など)  
広報や寄付募集を手伝っていただける方

資金 義援金もあまり集まっていないようですのでお願いしたいです。  
寄付 上記のような活動を1年以上続けて行うことになりそうですので、いばらき未来基金への寄付もお願いします。今後は移動支援、学習支援、情報支援、その他のまちの復興似関する支援など寄付の用途を選べるようにもしていきたいと思います。

その他 避難指示が解除され、まちのゴミが目立たなくなり一見落ち着いてきたように思われ、メディアでも取り上げられなくなりましたが、被災者の生活は楽になっていません。むしろ疲れがたまり、この先の心配で心身の悩みが深刻になっています。昨日あ

った塾の先生は個人事業主はつらい、片づけで腰がまがらなくなり掃除もできない、と漏らしていました。

この3週間、最初は水との戦い、次がゴミとの戦いでした。いまは孤独や喪失感との戦いです。みな被災地以外にいたり、職場にでたとき、被災や被害に関する感覚の違いにすごくショックを受け、取り残されている、忘れられていると感じています。忘れていない、いっしょに今後のことを考えている、ということが伝わるとみな明日に向かう勇気がでてくると思います。災害から1月をすぎたら何か皆が元気になれることもやっていきたいと思っています。

行政や制度は重要だし、なんとかしてほしいですが、やはり市民社会をつくらないと生活や幸せを守れません。今20年前に阪神淡路でうまれようた様々な活動が、規模は小さいかもしれませんが、この常総市でうまれつつあるし、今なら市民が協力した活動、災害弱者を生まない行政や助け合いの仕組みをつくれる。今なら国籍の壁を越えたつながりがつくれる、そう信じて活動していこうと思います。

今後ご支援をお願いします。ありがとうございます。

横田 能洋

たすけ合いセンター-juntos

303-0005 茨城県常総市水海道森下町4346-3

090-8854-0831(横田) juntos 代表電話 090-6568-9930

固定電話 0297-44-4281 FAX 0297-44-4291

<https://www.facebook.com/JUNTOScommons/>

茨城NPOセンター・コモンズ

TEL:029-300-4321

FAX:029-300-4320

常総市の横田です。沢山のご支援本当にありがとうございます。

災害発生から23日がすぎましたが、めまぐるしい日々が続いています。

県災害対策本部によると全壊50棟、大規模半壊1035棟(常総市88%)

半壊にあたる床上浸水2801棟(常総市99%)、

一部損壊7132棟(常総市6001棟)とのこと。ただしこれは戸建てのみ。

やっと罹災証明の発行がはじまりました。先週から戸建てを対象にした

応急修理と、家に住めない人への公営住宅の無償提供受付が始まりました。

昨日は私の住む森下町でおそらく2回目の炊き出し(三重県のいいのさんが

きてくれました)があり、一軒一軒声をかけてまわりましたが、ほとんどがたたみや

床をはがした状態で2階生活。おそらく風呂も台所での料理も困難な状態。車を失い

火災保険も水害のため出ない、数100万の住宅修復に57万円程度の応急修理費

ではとてもたりません。外国人の方が買って数カ月の家が床上浸水で400万の

修理代がはらえないと連日駆け込んできます。生活再建支援法で全壊、大規模半壊には100万円、50万円の基礎支援金がでるようですが、半壊でも数100万の工事費は必要です。家の修復がしやすくなるようなんとかしたいです。そうでないとみな家を捨ててまちを出て行ってしまいかねません。

先週から市の会議のに同席できるようになり、こうした在宅避難者のことを考えてほしいと話しています。避難所統合で20近くあったところが市内は5か所くらいになり

人数は減りました。それは町はずれの避難所では、通勤通学が困難なためでもあります。

家に帰れたとしても上記のように食事もうまくにつくれない生活をしている人が大量にいます。実質的な避難生活者はあまり減っていないと思います。

今回は市役所が水没、電源喪失機能不全になったので対応の遅れを招きましたが

現状の把握、災害救助法でできることの検討がとても不十分です。3週間たっても市内の避難所はおにぎり。市外の避難所ではお弁当がでていのに。在宅避難者は今月4日からそのようなものすら提供してくれなくなるそうです。避難所も食事だけでなく劣悪な状況がつづいています。避難所をまわるNPOの方の働きかけで少しずつ改善されてはいますが、体の弱った人が統合の順に体育館に入れられたり、風邪を引いた人は

迷惑をかけたくない、床下の泥かきがおわらずカビが大量発生している被災住宅に戻っているような状況です。避難所で夜間見守る保健師や看護師もありません。

なんとか、本来なら使える制度を行政にもっと使ってもらい避難所や被災住宅で苦しい生活をおくっている人を救済してもらえよう働き掛けようとしています。今日はそのための会合をもちます。地元の地域リーダー、jc、行政関係者にも声をかけ災害対策に詳しい方々に知恵をいただく会です。

コモンズは、もともとこの地域に多い外国児童生徒向けの学習支援をしていたビルが水没したのですが、今は1階が高圧洗浄機や荷車などの貸出し機材倉庫、2階がボランティアの受付と情報提供拠点、3階が支援物資倉庫と簡易宿泊という状況で毎日全国からきていただいた応援スタッフで運営しています。平日がスタッフが少ないのが課題です。最近では軽トラックの貸出しが増えました。ボランティアは、1階の濡れた家財道具を外にだす作業から床下の泥を取り出す作業、農地での作業、堤防決壊エリアで家が全壊した地域での重機もつかった砂の撤去作業に重点が移っていますが、全然足りていません。とりあえず通りや公園にあったゴミの山はなくなってきましたが、家の片づけをしている人はみな疲れています。住宅地での炊き出し、足湯、マッサージなどを増やしたいところです。こうした街中で避難しつつ片づけをしている人が地域で支えあえる状況をつくる活動にも力を入れようとしています。そのひとつが街中の集会所などでのサロン（炊き出し、相談、マッサージ、足湯等を行う）とカーシェアリングです。

昨日、石巻のカーシェアリング協会の方が来てくださり、やり方を教わり私自身が車を預かりました。社用車が2台なくなり、困っていたので本当にありがたいことです。

これからまちごとにカーシェアの拠点を増やしたいのですが、避難所には車を管理できる体制がつかれそうにないので、通学通院を中心に無料で近い形での送迎サービスを立ち上げることにし

ました。これも宮城や大阪の移動支援の方の協力によって可能になった事業です。

多言語の情報誌発行と多言語のラジオ放送も続けます。やることがどんどん増えます。毎晩、市内に入ってくださった20を超える全国の市民団体の方と、情報交換を行っていますが NPO のネットワーク力はすごいと改めて思います。様々な情報、知恵、支援が集まってきます。被災した市民が直面している状況は本当に深刻ですが、なんとか外部からきていただいた方の応援をてこにして、住民が必要とする助け合いサービスをつくったり、行政に提言していけるよう、コモンズは現地でのつなぎ役をしていきたいと思います。引き続きご支援をお願いします。

以下、今の時点でご協力いただけるとありがたいものを記します。

情報 これまでの災害(特に水害)の際の行政の柔軟な支援を引き出した事例

半壊でも生活再建支援金が出た事例

(支援金も現金でないと家具を買うお金がないです)

在宅避難者が、被災者として物資、食事などの支援など

行政から得られた事例

具合がわるくなった人が避難所や在宅からホテルなどに移れた事例

おにぎりしかでない避難所の食事を途中から改善した事例

数千万の機材を損失し事業再開が困難な事業者の事業を支援した事例

新築数カ月で床上浸水したが火災保険もせず修復費用も銀行から借り

られない人の改装費用を安くするか公的支援を増やす事例

個人所有の田畑や土地にある大きなゴミを公的費用で撤去した事例

個人宅のこわれた塀を公的支援で運んでもらった事例

公園や自治会資産である集会所の修復費用をねん出した事例

ペットがいる方が無償提供の公営住宅に入れるようにした事例

市民運営の移動サービスにガソリン代等が行政から支払われた事例

フローリングの床をはがさずに床したの泥水を取り、カビ防止、白ア

リ対策に必要な処理をする方法をまとめた資料

修復工事にかかる費用の妥当性がわからないときにどうすればいい

か、に関する情報源や床上浸水住宅の修復の具体事例集

物資 毛布、シャンプーや石鹸など風呂用品、調味料、台所洗剤、カセ

ットコンロ、なべ、キャンプのテントでつかうようなライト、様々

なサイズの運動ぐつ、エコバック、

食品 缶詰、お菓子、カップめん、ひもちがしてカセットコンロでちょ

うりできる食材、ビタミンや栄養補給ができるジェル状の食べ

物、野菜ジュース、炊き出し用の食材

(コンビニやスーパーは再開しはじめましたが水海道の飲食店は

多くが休業中ですし買い物にいく時間も足もお金も不十分なの

で、みなビタミン不足です。温かいもの、甘いものが食べたいです。昨日も昼間暑い日でしたがお汁粉やトン汁が喜ばれました。3週間たっても連日おにぎり、こんな生活状況なのです)

(物資や食材についてご協力いただける場合は数や保管場所の調整が必要になりますのでご一報ください。)

人 家の修復、カビ防止やシロアリ対策について相談でしたり作業方法を教えてくれる人、床したにもぐる作業ができる人、火災保険や自動車保険など損害保険に詳しい方、家の修復費用の見立てができる人、まちなかサロンなど運営を手伝ってくれる方、個人宅の掃除や片づけを手伝ってくれるボランティア、移動サービスの運転ボランティアや運営スタッフ、翻訳や通訳のスタッフ(ポルトガル語、英語、スペイン語、タガログ語、ウルドゥ語、中国語など)  
広報や寄付募集を手伝っていただける方

資金 義援金もあまり集まっていないようですのでお願いしたいです。  
寄付 上記のような活動を1年以上続けて行うことになりそうですので、いばらき未来基金への寄付もお願いします。今後は移動支援、学習支援、情報支援、その他のまちの復興似関する支援など寄付の用途を選べるようにもしていきたいと思います。

その他 避難指示が解除され、まちのゴミが目立たなくなり一見落ち着いたように思われ、メディアでも取り上げられなくなりましたが、被災者の生活は楽になっていません。むしろ疲れがたまり、この先の心配で心身の悩みが深刻になっています。昨日あった塾の先生は個人事業主はつらい、片づけで腰がまがらなくなり掃除もできない、と漏らしていました。

この3週間、最初は水との戦い、次がゴミとの戦いでした。いまは孤独や喪失感との戦いです。みな被災地以外にいたり、職場にでたとき、被災や被害に関する感覚の違いにすごくショックを受け、取り残されている、忘れられていると感じています。忘れていない、いっしょに今後のことを考えている、ということが伝わるとみな明日に向かう勇気がでてくると思います。災害から1月をすぎたら何か皆が元気になれることもやっていきたいと思っています。

行政や制度は重要だし、なんとかしてほしいですが、やはり市民社会をつくらないと生活や幸せを守れません。今20年前に阪神淡路でうまれようた様々な活動が、規模は小さいかもしれませんが、この常総市でうまれつつあるし、今なら市民が協力した活動、災害弱者を生まない行政や助

け合いの仕組みをつくれる。今なら国籍の壁を越えたつながりがつくれる、そう信じて活動していると思います。

今後ご支援をお願いします。ありがとうございます。

横田 能洋

たすけ合いセンターjuntos

303-0005 茨城県常総市水海道森下町4346-3

090-8854-0831(横田) juntos 代表電話 090-6568-9930

固定電話 0297-44-4281 FAX 0297-44-4291

<https://www.facebook.com/JUNTOScommons/>

茨城NPOセンター・コモンズ

TEL:029-300-4321

FAX:029-300-4320